

たゆまぬ染色技術と
織布技術の向上をめざして



日本綿布 株式会社

715-0003 岡山県井原市東江原町1076
<http://www.nihonmenpu.co.jp/> 0866-63-0111

在籍する職種 織布 / 染色 / 整理加工 / 洗い加工

100年間磨いてきた伝統技法でつくる、 高付加価値な和製デニム。

世界的なデニム生地産地、井原でデニムの製造販売を行っている日本綿布。生地ができるまでの、染色・織布・整理加工を一貫して生産することで、アパレルの求める多様なニーズに対応しています。

1917年に備中小倉機の合資会社として創立、1919年に株式会社へ改組し、昨年100周年を迎えました。「創業当時、コストの安い産地が台頭し、分業制だった機屋の大半が廃業に追い込まれたイタリア・トスカーナの光景を目の当たりにしました。生き残ったのは、一貫生産できる設備を有していた数社のみ。私たちがすぐに設備投資を始めました。」

1980年代にはデニム生産に参入。旧式織機を使い風合いの良いオンリーワンの製品を作ることで、新しい道を切り拓くことに成功しました。

「井原ではかつて、綿糸を藍で染め、厚地に織り上げた備中小倉織の生産が盛んでした。和製デニムの起源でもあり、その染めや織りの伝統技法は、現在のデニムづくりに多く生かされています。」丹精込めて染色した糸で、丁寧に織り上げ

られたデニムは、その風合いの良さから、世界的なアパレルブランドも採用するなど、国内外から高く評価を受けています。近年も新たな織機、機械を積極的に導入。たゆまぬ染色技術と織布技術の追究により、高付加価値な素材を提供し続けています。



オーガニックコットンを使用したオーガニックデニムや、古着などを糸に戻した再生糸によるリサイクルデニムなど、近年アパレル業界で話題となっているサステナビリティにも即応できる高い技術力と一貫生産設備が強みです。